

第2回 西区まちづくり懇話会・エリア別ワークショップ議事録

1. 開催日時等

- <日時> 令和5年（2023年）9月30日（土）14時～16時
- <場所> 西部公民館1階大ホール
- <形式> 5エリア別のワークショップ
- <進行> 高智穂さくら氏（ファシリテーター）

2. ワークショップ関係

<テーマ> やっぱり住みたい！〇〇エリアのまちづくり

<班員校正>

（1班）金峰山系エリア（河内校区、芳野校区）

懇話会委員1名、河内・芳野校区団体長等4名

河内・芳野中3名、地域おこし協力隊1名 計9名

（2班）有明海沿岸エリア（小島校区、中島校区、松尾地区（東・西・北））

懇話会委員1名 小島・中島校区、松尾東地区6名、千原台高校1名 計8名

（3班）上熊本周辺エリア（花園校区、池田校区、城西校区）

懇話会委員1名、花園・池田・城西校区団体長等6名、井芹・西山中5名、
計12名

（4班）熊本駅周辺エリア（春日校区、古町校区、白坪校区）

懇話会委員1名、春日・古町・白坪校区団体長等6名、
千原台高校2名 計9名

（5班）西部エリア（池上校区、高橋校区、城山校区）

懇話会委員1名、池上・高橋・城山校区団体長等5名、三和中2名、
千原台高校1名 計9名

<タイムスケジュール>

14:00～ 開会・区長挨拶

14:05～ ワークショップについて説明

14:10～ 自己紹介

ワークショップ開始 ～ 各班まとめ

15:10～ 各班発表

15:35～ 休憩（魅力あるエリアに投票）

15:45～ 講評→川副会長

3. 議事録

<グループワーク>



◆各エリア（班）の発表内容

	上熊本エリア	西部エリア	熊本駅周辺 エリア	有明海沿岸 エリア	金峰山系 エリア
イベントタイトル	ぴかパスタスタン プラリー	鯉と遊ぼう川下 り	万日山フェス	自然丸かじり！	天空のサンセッ トライブ
開催場所 (理由もあれ ば)	上熊本駅前	坪井川周辺	万日山緑地公園	熊本港、白川、 松尾の山	金峰山山頂
開催日	5月下旬～6月 上旬のホタルが見 られる時期	5月（鯉のぼりの 飾りつけ時期）	桜の時期	各イベントに合 わせて（旬）	・春（みかんの 花の時期） ・秋（みかんの 果実の時期）
参加対象者	誰でも	一般、観光客	誰でも参加OK！	県内在住者	若い人、家族連れ
開催趣旨 (伝えたいエリ アの魅力は？)	街中からすぐに行 けるホタルのスポッ トを伝えたい	・川を通じて自然 と歴史を感じる ・鯉のぼりを多く の人にみてほしい	・都会と自然の両 立 ・夜景	・豊かな自然（海、 山） ・農産物（レンコン、 海苔、みかん）	・空に一番近い！ ・きれいな景色と夕 陽！ ・みかんがおいしい！
イベント内容	駅前を歩行者天国 にして、キッチンカー やフリーマーケットの イベントを開催する。 そこからホタルのスポ ットを巡るスタン プラリーを実施する	・川下り（カヤック など） ・キッチンカーを川 沿いに並べる （高橋稲荷神社まで 食べ歩きをし参拝す る）	・有名アーティスト を呼ぶ（WANIMA、 YOASOBI、Ado） ・司会 八代亜紀さん （高千穂さん） ・西区の食材を使っ ているキッチンカー ・ロープウェイの設 置	・釣り大会 ・マラソン大会 ・キャンプ ・花火 ・ウォークラリー ・レンコン掘り大会	・金峰山山頂にステ ージを設置 ・神楽や歌手のパフ ォーマンスを披露 ・夕陽をバックに特 産品や景色を楽しむ

＜各班発表＞



<講評>

(川副会長)

グループワークでは、プロフェッショナルな方と、若者というような組合せで上手くいくのか不安だったが、中学生・高校生が積極的に話をしているのと、プロフェッショナルの方々が同じ目線で話をされていて、グループワークとしては非常に上手くいった。それぞれのエリアが大好きだという気持ちが、この会をうまくまとめているのではないかと感じた。

また考えたイベントタイトルが非常に面白いなと感じた。風景や場所は変わらないがそれをどうやって見せていくかという話になってくる。誰に対してどうやって見せていくかを考えているようなタイトルだったので、非常に面白い流れになった。

もう一步踏み込んで考えると、「どういう体験をしてもらうか」である。昔はモノの機能というのが大事だった。「この車の性能は」だったのが、今は「その車に乗ってどのようなところに行くのか」みたいな体験型になっている。このイベントに参加した人が、どのような体験をしてどのような気持ちになるのかまで踏み込んでいくと、もうひと段階上がるのではないかと感じた。

この短い時間でここまで来ていることは、非常に大成功だったと思っているし、結果よりも打合せ時のプロセスのほうがよかったと思う。

1年間に1回、このようなイベントが開かれることによって、地元の良さをもう1回思い出すということもできれば、運営側に、いろんな引き出しが増えていくのではないかと考えた。

<閉会>